

地域と人をつなぐ 公民館

—自治会の日運営を考える—

ほくらボAチーム（竹原、西村、別本、山下）





提案の背景

公民館の現状

1. 利用者に偏りがある
2. 若者、現役世代、農家などが利用しにくい
3. 放課後児童クラブの利用終了に伴う影響
4. 現状のままでは新しい機能が活かされない可能性

新しい公民館に期待する姿

1. 地域活性化の中核としての公民館
2. 社会教育の枠を超える 公民館へ
3. 出向く、つながる、発信する公民館
4. 高度な情報発信
5. 各機関との連携機能の強化



自治会の日の提案

町内広く、各層が利用する公民館 → 自ずと地域や人の交流ができる 場づくり

自治会の問題

1. 運営の縮小や形骸化
2. 役員交代制による機能の弱体化、加入率の低下、若年層の離脱
3. 地域の一体感の低下

自治会の日の概要

誰が	自治会の役員が中心となってチームを編成
いつ	各自治会が年1回、1週間展示(常時公開)。任意で交流会(60分)も実施。各自治会の持ち回りで通年開催する。
どこで	新しい公民館1階のフリースペース(常設展示コーナー)
何を	ポスター・特産品・地域の歴史や風景・子どもの絵・映像作品などの展示、自由な企画で自治会のPRと交流を行う
なぜ	① 作品づくりを通じて地域がまとまる ② 公民館と自治会が“つながる”機会に ③ 地域の魅力を町内外へ発信する場となる



自治会アンケート

各自治会の状況やニーズを把握するため、アンケートを実施

質問項目

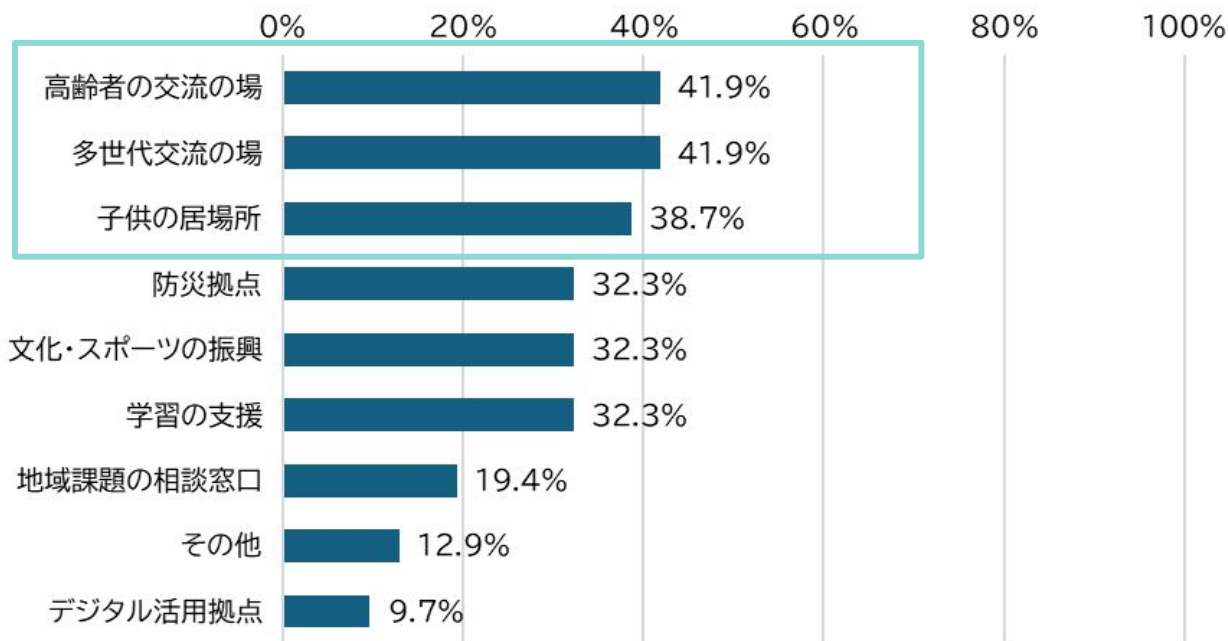
1. 公民館の利用状況
2. 公民館に期待する役割や機能
3. 自治会の活動と抱えている課題
4. 希望する支援内容
5. 「自治会の日」に対する自由意見と賛否

アンケートの概要

対 象: 全**63**自治会長
期 間: 9月1日～15日
方 法: 郵送回収
回答数: **31**自治会(回答率**49%**)

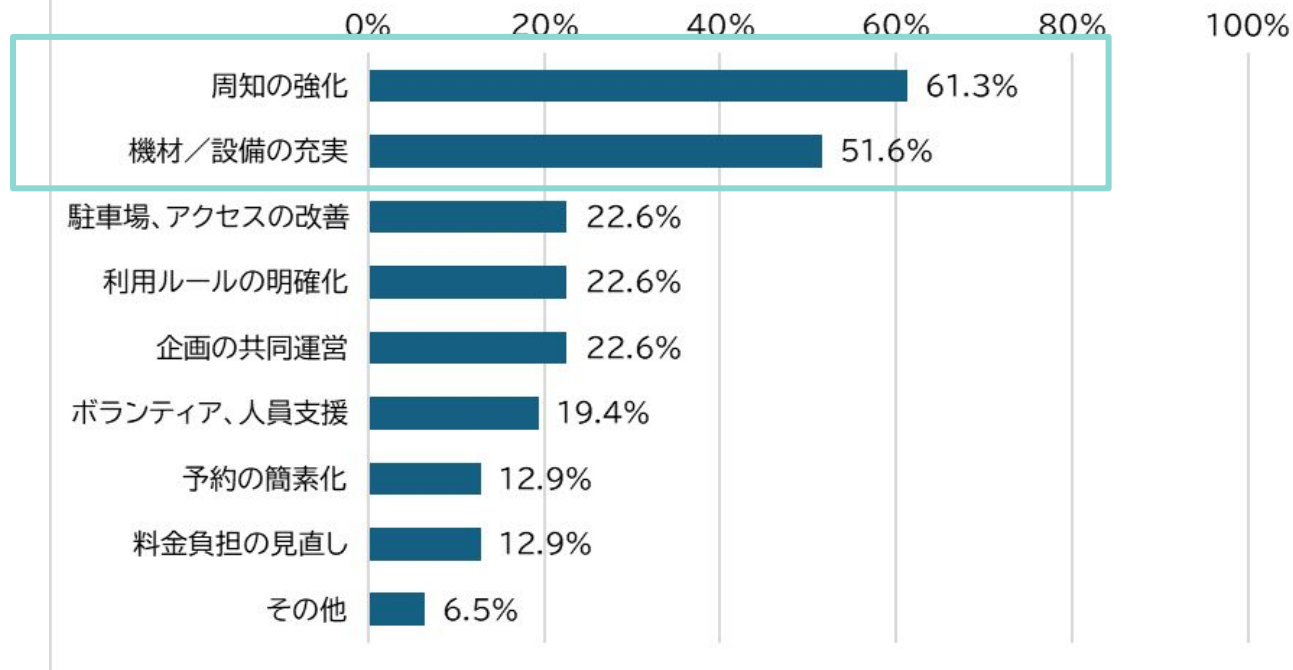
公民館について

公民館(北条本館・大栄分館)に期待する機能は何ですか？



公民館に期待する機能は「高齢者の交流の場」「多世代交流の場」「子供の居場所」が上位

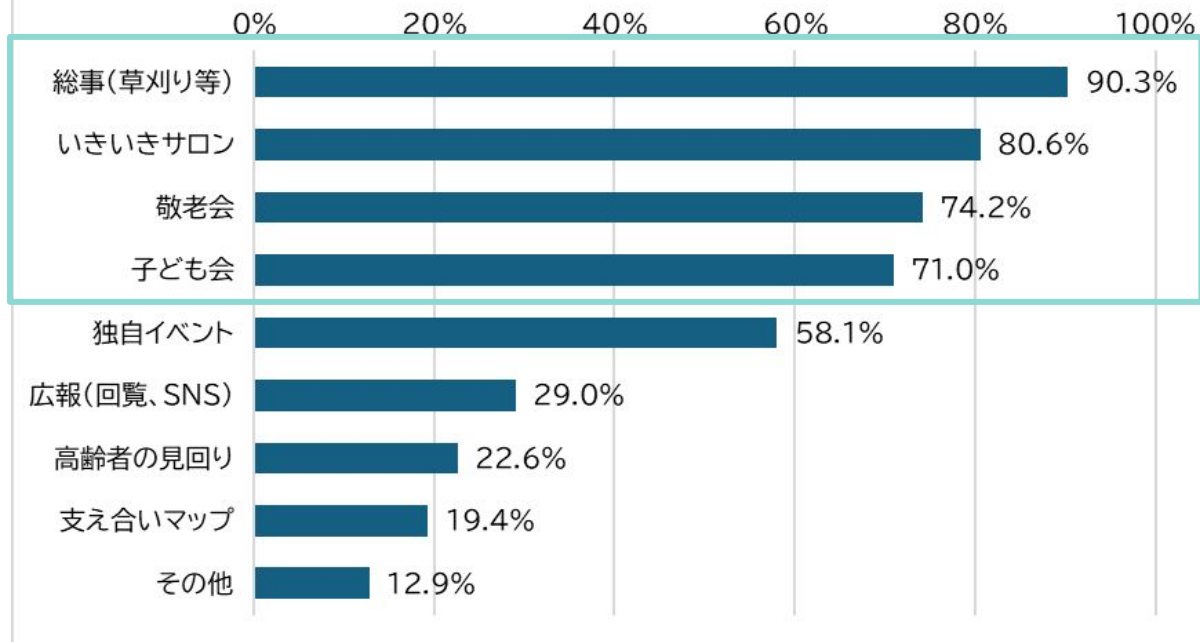
公民館(北条本館・大栄分館)の利用を増やすために必要なことは何だと思いますか？



「周知の強化」「機材／設備の強化」を多くが希望

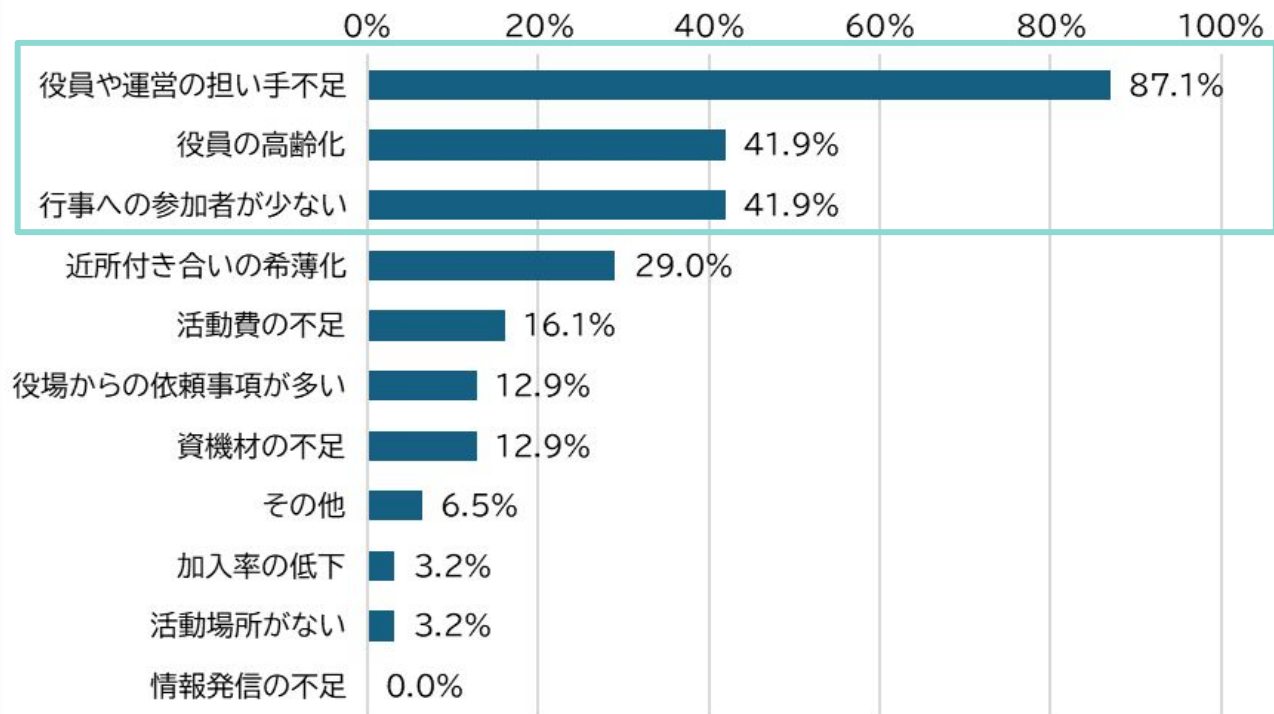
自治会について

現在、自治会で取り組んでいる活動にはどんなものがありますか？



「総事」「いきいきサロン」「敬老会」「こども会」が7割

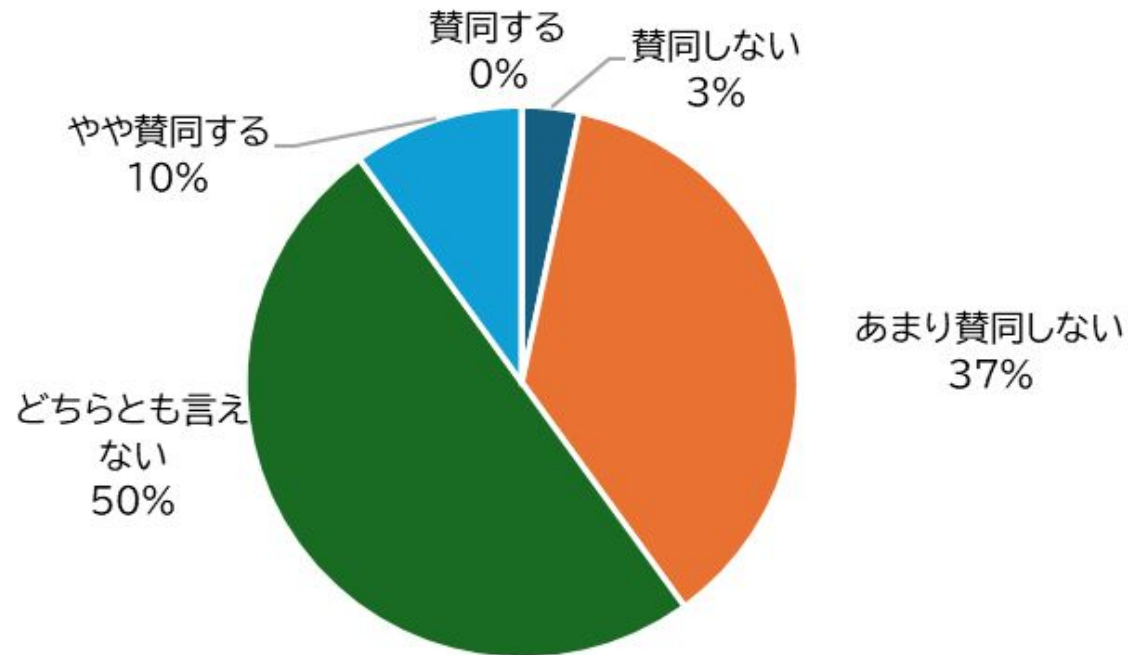
自治会運営上の主な課題は何ですか？



9割が「役員や運営の担い手不足」を感じ、次いで「役員の高齢化」「行事への参加者が少ない」

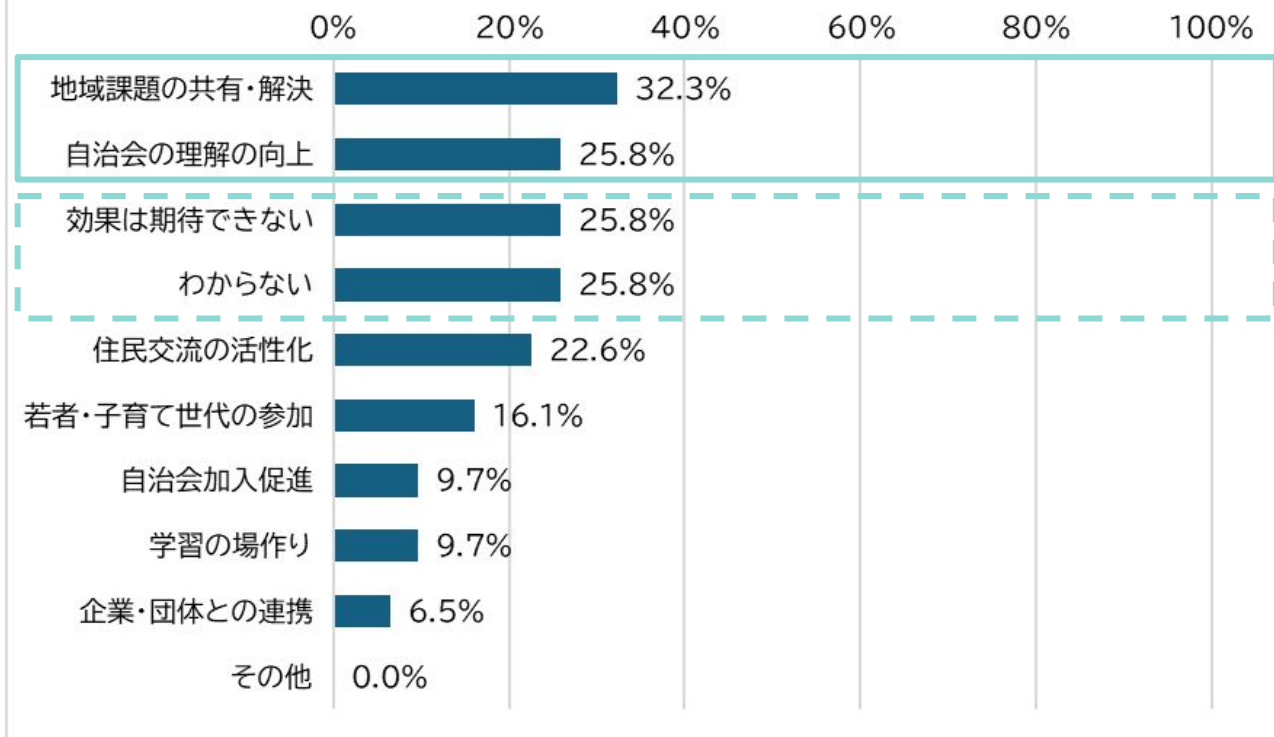
自治会の日について

「自治会の日」にどの程度賛同しますか？



「どちらとも言えない」が5割、「あまり賛同しない」が4割の回答

自治会に対して期待できる効果は何だと思いますか？



- 「地域課題の共有・解決」「自治会の理解の向上」が3割
- 「効果は期待できない」「わからない」も3割



アンケートのまとめ

1. 公民館は利用が少なく、必要性も感じていない。
2. 高齢者や子どもの学習の場と認識され、交流ニーズは理解されつつも望まれていない。
3. 自治会は担い手不足・高齢化・行事への関心低下・人間関係の希薄さが課題。
4. 支援要望は運営ノウハウより経費補助に集中。
5. 「自治会の日」は趣旨理解が浅く、新規取組への負担や賛同への懸念がある。

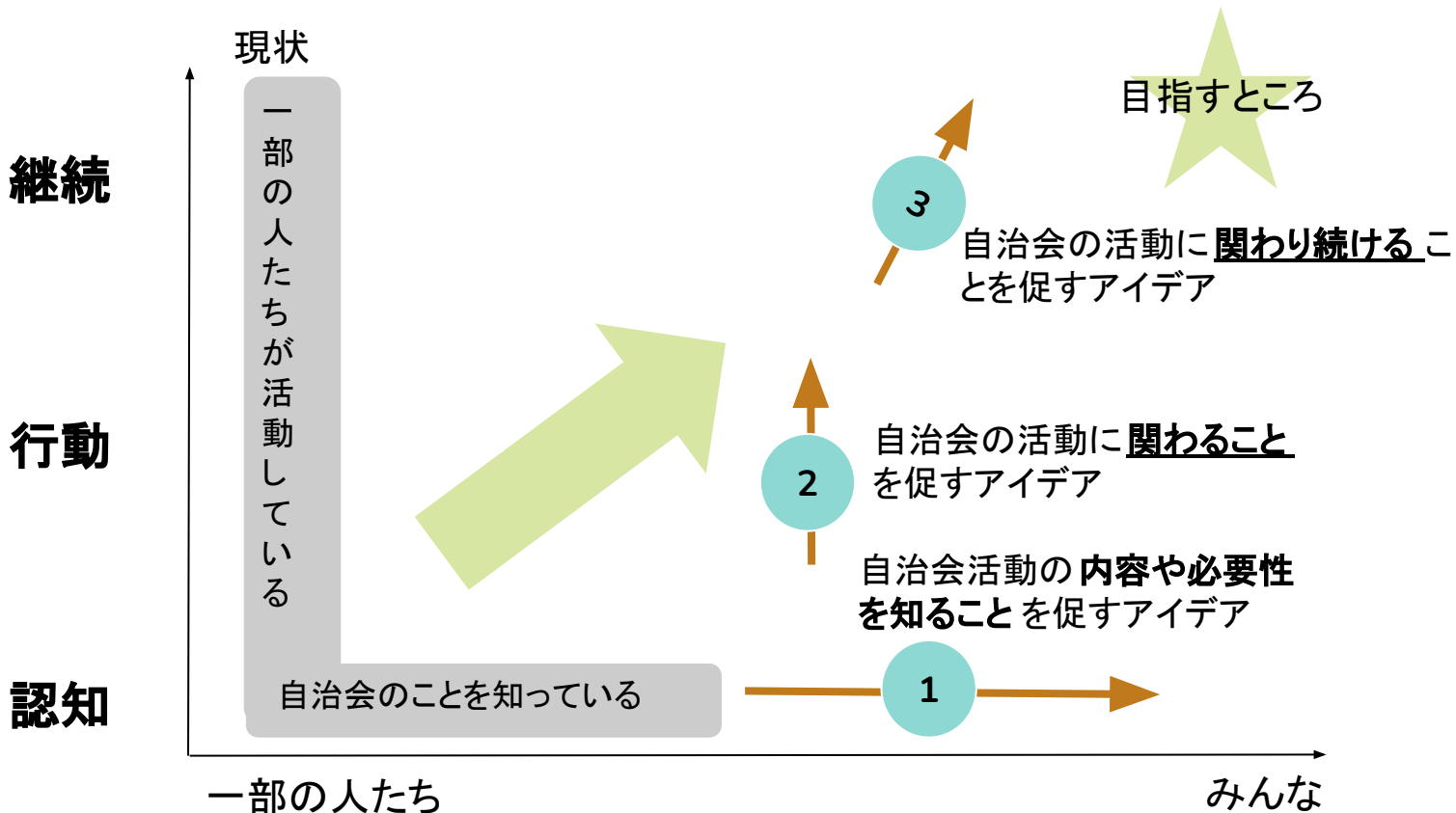
説明不足で踏み込んだ意見集約に至らなかったが、各自治会の課題は明確化し、地域活性化や交流の障害も浮き彫りとなった。



課題への対策

- 公民館が交流の場となるには、まず地域の活力が基盤になるが、アンケートからも自治会が諸課題を抱えていることが伺える
- 自治会の課題は色々だが、それらの対策を考える時、**自治会は相談先を持たない**
- こうした課題への取り組みにおいて、公民館が支援の役割を果たさねば人の交流も期待できない
- 公民館の事業の見直しが必要

自治会活性化のイメージ





自治会を支援する体制

1. **公民館サポーター** を各自治会に設置
 - a. 自治会役員の一人が担う
 - b. 自治会と公民館との間で情報提供や公民館からの支援を要請する
2. **サポーター会議** の開催
 - a. 公民館が定期的にサポーター会議を招集する
 - b. 各自治会の情報交換や必要なサポートの検討などを行う
3. **コーディネーター** の配置
 - a. 公民館側に専任の担当を配置して、自治会のサポーターと連携・指導を行う



公民館事業の再構築

1. 若者や現役世代向けの行事の企画
2. 図書館や学校との連携
3. 独自ホームページの開設、双方向意見収集
4. 出前講座、交流行事による自治会支援
5. **自治会運営の課題解決支援**

⇒ 公民館法の枠外

新しい体制の提言

北条支所

- 窓口業務
- その他業務(集落支援員配置)

公民館

- 社会教育

地域交流センター

- 窓口業務
 - 現公民館業務(北条、大栄)
- +
- 地域(自治会)支援業務
 - 北条地区と大栄地区にそれぞれにコーディネーターを配置

サポ
ーター

A自治会

サポ
ーター

B自治会

サポ
ーター

C自治会

...



おわりに

1. 自治会の日は、強制的に導入するのではなく、「やってみたい」という自治会から始めてみるのも一つの方法ではないか。
2. 究極的には、まちが元気になることが目的であり、そのためには自治会や住民が元気になることが必要で、そのきっかけづくりとして捉えたい。
3. 「地域おこし」には表面的な面もある。目立つ事業ばかりでなく、自治会や住民が元気に活動している姿があってこそ、物事は継続するのではないか。